

NEEDO事業に採択**大成ロテック、日本製紙
バイオアス混合物開発**

大成ロテックと日本製紙が共同で取り組む「クラフトリグニンを使用したバイオアスファルト混合物の開発」が、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEEDO）の戦略的省エネルギー技術革新プログラムに採択された。木材由来のクラフトリグニンをアスファルト原料の一部に利用したバイオアスファルト混合物の開発を目指す。

大成ロテックは、バイオアスファルトとバイオアスファルト混合物の製造方法の検討、舗装施工の品質管理、供用性評価など、日本製紙はクラフトリグニンをアスファルト利用に適した品質にする改質技術を検討する。

石油アスファルトの使用量を低減したバイオアスファルト混合物を使用することで、原材料のバイオマスを加えて原油からアスファルト道路舗装まで工程全体で、化石エネルギーの利用を抑えるといった効果が期待できる。

アスファルトの原料となる原油は地政学的な影響を受けやすく、輸送や製油、アスファルト舗装の工程で多くのエネルギーが必要になる。森林資源は身近に存在する身近な持続可能資源

なため、森林資源を活用したアスファルトの開発を目指す。大成ロテックが持つ特殊アスファルトを製造する技術と、日本製紙のリグニンを有効活用する技術とを結合して応用する。